

## 持続可能な地域文化のありかたについて ふくおかボランティアフォーラム2018

大澤 寅雄

ニッセイ基礎研究所社会研究部

芸術文化プロジェクト室主任研究員

## 最近のニュースから

### 東京五輪・パラの大会ボランティア、目標の 8万人達成

2020年東京五輪・パラリンピック大会組織委員会は21日、国内外から募った大会ボランティアの応募者が20日午前9時時点で8万1035人に上り、目標の8万人を達成したと発表した。4割超が外国籍で、東京大会は支え手も国際色豊かになりそうだ。一部の活動分野は目標の人数に届いておらず、引き続き応募を呼びかけている。

(2018/11/21 日本経済新聞)

### 五輪ボランティア 目標8万人突破「ブラック」批判も「理解されている方たくさん」

大会のボランティアを巡っては、無償であること、「10日以上を基本」とする活動条件や、宿泊費などが自己負担であること、交通費としての支給が1000円のプリペイドカードであることなどの条件に「**ブラックボランティア**」、「**やりがい搾取**」などと批判を受けていたが、ひとまず目標人数を突破した。

組織委の武藤事務総長は「色んな考えの人がいる」とした上で「**ボランティアは奉仕ということでお金をもらうことが目的ではない**。これは我々が特殊なのではなく、五輪はずっとこういう考え方でやってきている。予想以上に長期間を希望する人も多かった。自らそういう活動をするので、**人生において新たな学びをするのがボランティア**の本当のところ。そういうことを理解されている方がたくさんおられた」と、手応えを語った。

(2018/11/21 デイリー / Yahoo!ニュース)

## 「ブラックボランティア」「やりがい搾取」

- 営利・私益目的のもとでの「無償ボランティア」
- 報酬の代わりに「やりがい」を強く意識させる
- 説明の不足、劣悪な環境、事業への不信感

## ボランティア？サポーター？

### 瀬戸内国際芸術祭ボランティアサポーター 「こえび隊」

こえび隊は瀬戸内国際芸術祭のボランティアサポーターの名前です。全国・世界中の幅広い年齢層の方が、瀬戸内に集まり、島に渡って活動をしています。

島が好き！アートが好き！芸術祭を手伝いたい！と思っている方なら、いつからでも、誰でも参加できます！年齢制限はありません！1日から参加できます。子どもからおじいちゃんおばあちゃん、親子でも、自分に合った活動ができます。

(<http://www.koebi.jp/about/>)



### 大地の芸術祭公式サポーター 「こへび隊」

「世代・ジャンル・地域を越えた」自主的な組織です。

メンバーは流動的ですが、これまで約2000名を超える中高生から80代まで幅広い世代の人々が首都圏を中心に全国および海外から集まっています。

美術や建築に限らず、経済、福祉、社会学、語学などを学ぶ学生や、主婦や仕事を持つ人から、作家やスタッフの家族まで多様な人々が参加しています。

(<http://kohebi.jp/ideal/>)



## 横浜トリエンナーレサポーター ハマトリートツ！ (hamatreats)

サポーター活動を通して、文化・芸術活動への日常的な支援へと発展し、それらの活動がひとつのゴールとして横浜トリエンナーレ本展へと結実することを目指します。

参加者は「アートが大好き」という方もいれば、「街づくりに興味がある」という方までさまざま。10代から80代まで年齢層も幅広く、肩書などは一切関係なく自由に意見交換を行います。横浜の魅力をアートの視点から再発見でき、次回展の見どころをいち早く知ることができます。

(<http://www.yokotorisup.com/about/yokohama-triennale-supporter.html>)



## 市民の社会貢献に関する実態調査 報告書

内閣府・平成25 / 28 年度

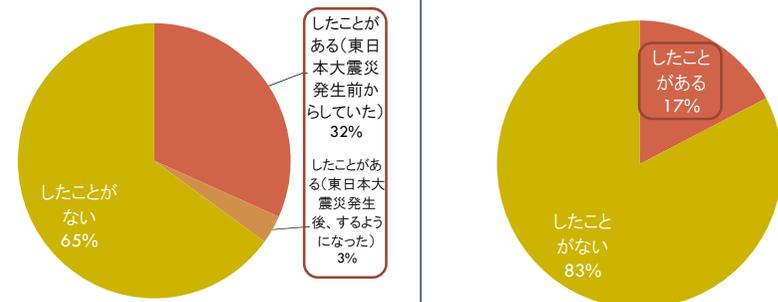
## 調査の概要

- 調査対象：全国に居住する満 20 歳から 69 歳までの男女  
(H25年度10,000人、H28年度9,000人)
- 抽出方法：地区、年齢層の層化2段階無作為抽出法
- 調査方法：郵送調査とオンライン調査の併用
- 回収率：H25年度31.3%、H28年度41.8%

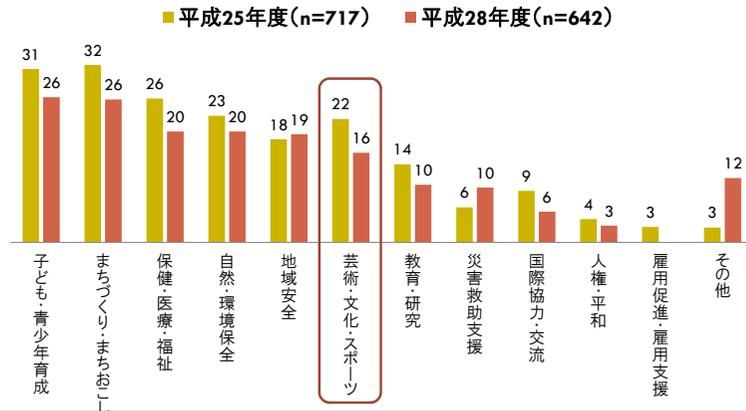
## ボランティア活動経験の有無

平成25年度(n=3,044)

平成28年度(n=3,707)

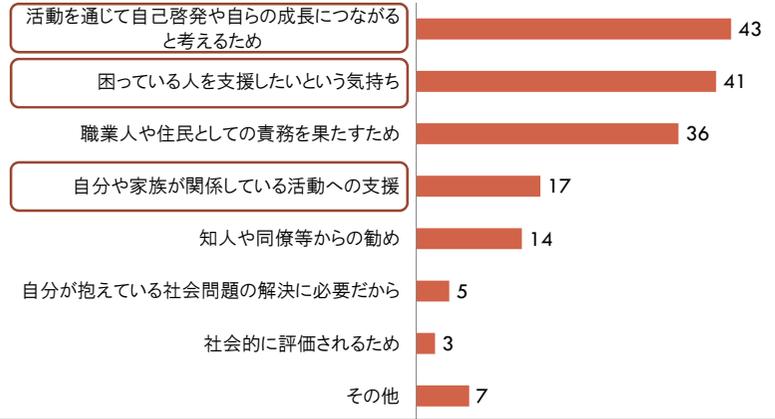


### ボランティア活動に参加した分野【複数回答】



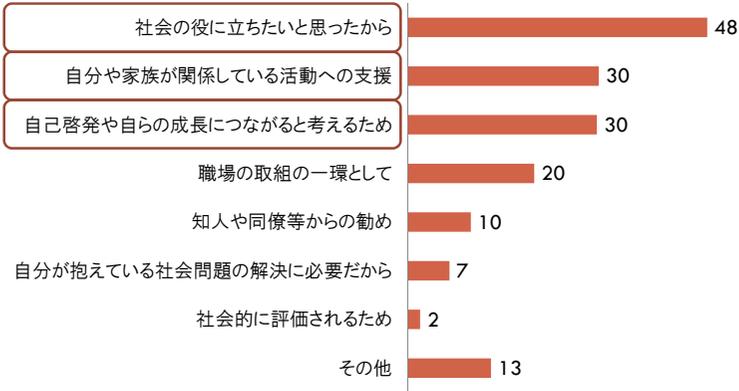
### 参加理由【複数回答】

平成25年度 (n=1,028)



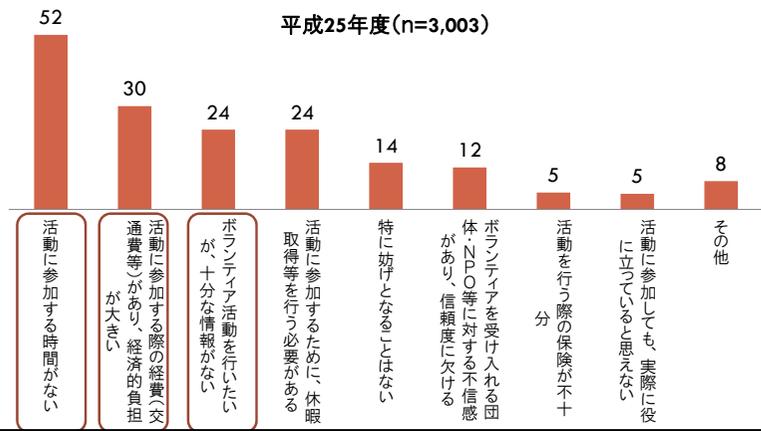
### 参加理由【複数回答】

平成28年度 (n=622)

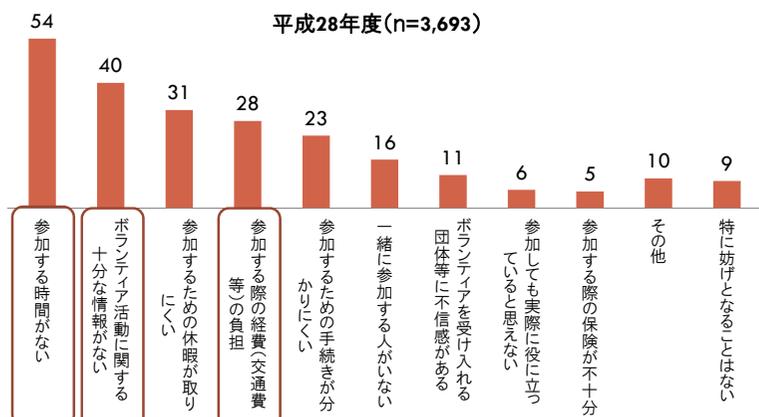


### 参加の妨げとなる要因【複数回答】

平成25年度 (n=3,003)



### 参加の妨げとなる要因【複数回答】



### ボランティア活動の3年間の変化

ボランティア活動を「したことがある」割合	H25年度35% H28年度17% (▼18%)
「芸術・文化・スポーツ」の参加割合	H25年度22% H28年度16% (▼6%)
参加理由	「自己啓発や自らの成長」 H25年度43% H28年度30% (▼13%)
	「困っている人を支援したい」 「社会の役に立ちたい」 H25年度41% H28年度48% (▲7%)
	「自分や家族が関係している活動の支援」 H25年度17% H28年度30% (▲12%)

### ボランティア活動の3年間の変化

参加の妨げとなる理由	「活動に参加する時間がない」	H25年度52% H28年度54% (▲2%)
	「参加する際の経費(交通費等)の負担」	H25年度31% H28年度28% (▼3%)
	「十分な情報がない」	H25年度24% H28年度40% (▲16%)

### 今日、考えたいこと

文化芸術分野のボランティアを活性化するためには

- 文化芸術を通じて「困っている人を支援する」「社会の役に立つ」という参加動機に伝えるような説明が有効だろうか。
- 自分に近い人(家族、友人、知人)と文化芸術との「関わり」や「距離感」を、どのように説明すればいいのだろうか。
- 忙しくても参加できるような活動内容、活動方法はあるだろうか。
- ボランティア活動に関する情報は広く公開されているだろうか。関わってほしい人に行き届くメディアを使っているだろうか。
- その活動は、持続可能だろうか。地域の持続可能性にとって、その活動が必要だろうか？

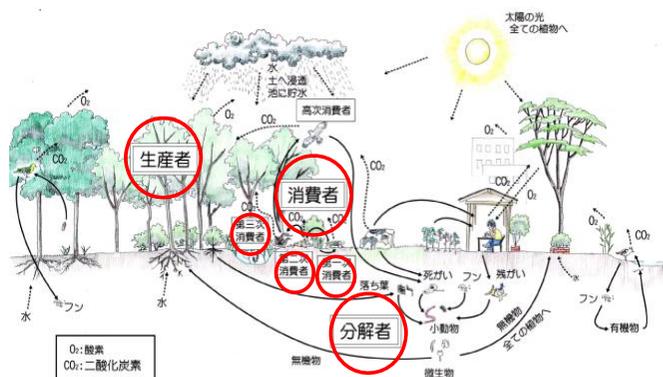
## 持続可能性

持続可能性(じぞくかのうせい、英: sustainability)とは、一般的には、システムやプロセスが持続できることをいうが、環境学的には、生物学的システムがその多様性と生産性を期限なく継続できる能力のことを指し、さらに、組織原理としては、持続可能な発展を意味する。すなわち、人間活動、特に文明の利器を用いた活動が、将来にわたって持続できるかどうかを表す概念であり、エコロジー、経済、政治、文化の4つの分野を含むものとされる。

(フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』)

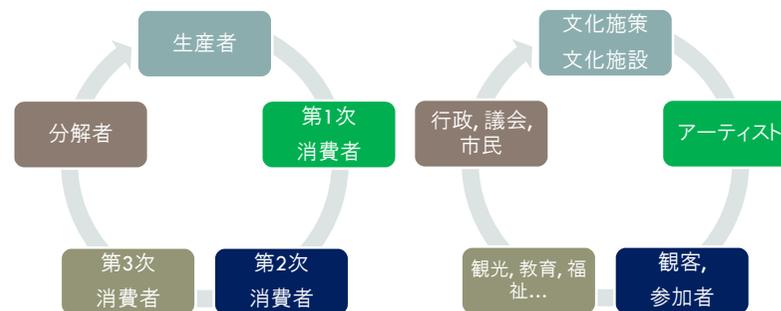
## 持続可能な地域文化の生態系

## 生態系の構成要素



<http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/midori/seibututayousei.html>

## 生態系に見られる「循環」

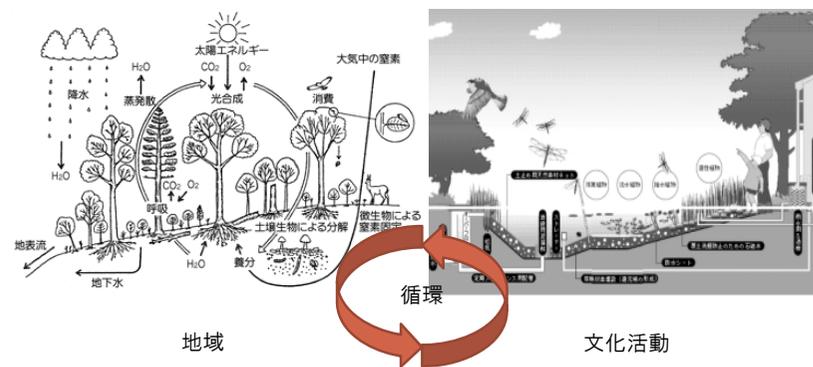


## ビオトープ(wikipedia)

ビオトープ(独: **Biotop**)あるいはバイオトープ(英: **biotope**)は、生物群集の生息空間を示す言葉である。日本語に訳す場合は生物空間、生物生息空間とされる。語源はギリシア語からの造語(bio(命) + topos(場所))。転じて、生物が住みやすいように環境を改変することを指すこともある。

ビオトープとは生物の住息環境を意味する生物学の用語であるが、(中略)「周辺地域から明確に区分できる性質を持った生息環境の地理的最小単位」であり、生態系とはこの点で区別される。つまり、ビオトープ(環境)とその中で生息する生物群集(中身)によって、生態系は構成されているということもできる。

## 生態系とビオトープの循環



株式会社ニッセイ基礎研究所  
 芸術文化プロジェクト室  
 主任研究員 大澤寅雄  
 ohsawa@nli-research.co.jp  
 (福岡県糸島市在住、facebook友達リクエスト歓迎)